

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2497 URL <https://united.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 早川 与規
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 経営管理本部長（氏名） 山下 優司（TEL）03(6821)0000
 半期報告書提出予定日 2025年11月6日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,313	△31.8	△690	—	△720	—	△626	—
2025年3月期中間期	6,326	△31.0	2,572	△52.1	2,520	△53.1	1,628	△47.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △692百万円（—％） 2025年3月期中間期 △657百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△16.48	—
2025年3月期中間期	41.51	41.48

（注）2026年3月期第2四半期（中間期）の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	21,034	19,063	87.5
2025年3月期	24,842	21,770	84.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 18,397百万円 2025年3月期 21,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2026年3月期	—	11.50	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	11.50	23.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,000	△16.9	△1,200	—	△1,250	—	△1,400	—
								△36.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 —社(社名)— 、除外 1社(社名) (株)ブリューアス

第2四半期(中間期)における連結範囲の重要な変更に関する注記

第1四半期連結会計期間において、キラメックス(株)が(株)ブリューアスを吸収合併したことにより、(株)ブリューアスが消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、当吸収合併後企業の名称は(株)ブリューアスになります。

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	40,412,690株	2025年3月期	40,412,690株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,969,093株	2025年3月期	1,128,403株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	38,013,048株	2025年3月期中間期	39,239,104株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

2025年11月6日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善により緩やかに回復している一方、物価の上昇が続いていることや、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク、物価上昇の継続による個人消費に及ぼす影響、金融資本市場の変動等の影響、中東・ウクライナ等の情勢など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、投資事業、教育事業及び人材マッチング事業を、今後の成長をけん引するコア事業として設定しております。そして、コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいります。具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいります。

当中間連結会計期間の経営成績は、教育事業及び人材マッチング事業で増収となったものの、投資事業で投資先株式の売却量が前年同期比で減少した影響により、売上高は4,313,592千円(前年同期比31.8%減)、営業損失は690,545千円(前年同期は営業利益2,572,426千円)、経常損失は720,695千円(前年同期は経常利益2,520,518千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は626,459千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益1,628,629千円)となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間より、教育事業における既存領域の強化を図るため、キラメックス(株)及び(株)ブリュアスを経営統合する取締役会決議を行ったことに伴い、(株)ブリュアスをアドテク・コンテンツ事業から教育事業に変更しております。以下の前年同期比較については、変更後の区分方法により作成しております。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。

当中間連結会計期間は、投資先株式の売却量が前年同期比で減少した影響により、売上高は291,925千円(前年同期比91.4%減)、セグメント損失は33,825千円(前年同期はセグメント利益3,162,743千円)となりました。

② 教育事業

教育事業は、個別指導学習塾事業を運営する(株)ベストコ及びオンライン教育事業・スマートフォン向けアプリ開発事業を運営する(株)ブリュアスにより構成されております。

当中間連結会計期間は、前第3四半期連結会計期間末から(株)ベストコを連結子会社化した影響で、売上高は1,760,675千円(前年同期比199.9%増)、セグメント損失は188,766千円(前年同期はセグメント損失216,442千円)となりました。

③ 人材マッチング事業

人材マッチング事業は、スカウト送信代行、採用支援等のRPO(採用代行サービス)事業、人材紹介事業を運営するユナイテッド・リクルートメント(株)及びデザイナー特化型マッチング事業を運営する(株)リベイスにより構成されております。

当中間連結会計期間は、人材紹介事業及びデザイナー特化型マッチング事業の拡大により、売上高は376,708千円(前年同期比13.8%増)、セグメント損失は37,518千円(前年同期はセグメント損失90,855千円)となりました。

④ アドテク・コンテンツ事業

アドテク・コンテンツ事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの開発・運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通した様々なサービスを提供しており、ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)、フォッグ(株)及び(株)インターナショナルスポーツマーケティングにより構成されております。

当中間連結会計期間は、フォッグ(株)の主力事業であるオンラインくじで一部大型案件が失注した影響により、売上高は1,889,777千円(前年同期比6.6%減)、セグメント利益は51,507千円(前年同期比71.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,807,849千円減少し、21,034,601千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、剰余金の配当、法人税等の納付、投資事業における新規出資等により、前連結会計年度末に比べ4,027,147千円減少しております。
- ・営業投資有価証券は、投資事業における新規出資及び投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ235,273千円増加しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,100,850千円減少し、1,971,341千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・その他流動負債は、事業上の預り金の減少等により、前連結会計年度末に比べ469,796千円減少しております。
- ・未払法人税等は、法人税等の納付等により、前連結会計年度末に比べ384,329千円減少しております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,706,999千円減少し、19,063,260千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ1,569,282千円減少しております。
 - ・親会社株主に帰属する中間純損失626,459千円の計上
 - ・剰余金の配当による942,822千円減少
- ・自己株式は、㈱博報堂DYホールディングスとの間の親子上場関係の解消を目的として取得したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,067,879千円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想は、2025年3月期通期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2025年5月12日に発表しました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2026年3月期通期連結業績予想(2025年4月～2026年3月)

売上高	10,000百万円(前連結会計年度比 16.9%減)
営業損失	1,200百万円(前連結会計年度は営業利益2,646百万円)
経常損失	1,250百万円(前連結会計年度は経常利益2,577百万円)
親会社株主に帰属する当期純損失	1,400百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益1,480百万円)

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,611,361	8,584,214
売掛金	1,094,607	1,052,245
営業投資有価証券	7,702,045	7,937,319
棚卸資産	30,123	33,159
その他	318,584	362,625
貸倒引当金	△14,990	△14,301
流動資産合計	21,741,732	17,955,262
固定資産		
有形固定資産	378,201	366,302
無形固定資産		
のれん	509,293	440,632
その他	343,585	349,023
無形固定資産合計	852,878	789,656
投資その他の資産	1,869,638	1,923,379
固定資産合計	3,100,718	3,079,338
資産合計	24,842,451	21,034,601
負債の部		
流動負債		
買掛金	973,424	837,583
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	61,488	52,688
未払法人税等	464,888	80,558
賞与引当金	37,850	39,363
資産除去債務	9,003	9,210
その他	1,223,910	754,114
流動負債合計	2,870,565	1,873,517
固定負債		
長期借入金	96,521	74,577
資産除去債務	22,273	23,246
繰延税金負債	82,832	-
固定負債合計	201,626	97,823
負債合計	3,072,191	1,971,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	606,848	598,473
利益剰余金	18,010,430	16,441,147
自己株式	△898,112	△1,965,992
株主資本合計	20,642,184	17,996,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404,420	401,270
その他の包括利益累計額合計	404,420	401,270
新株予約権	127,187	127,187
非支配株主持分	596,467	538,154
純資産合計	21,770,259	19,063,260
負債純資産合計	24,842,451	21,034,601

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,326,019	4,313,592
売上原価	2,188,401	2,896,060
売上総利益	4,137,617	1,417,532
販売費及び一般管理費	1,565,190	2,108,077
営業利益又は営業損失(△)	2,572,426	△690,545
営業外収益		
受取利息	9,342	18,362
受取配当金	3	317
未払配当金除斥益	848	1,059
その他	4,639	7,081
営業外収益合計	14,833	26,821
営業外費用		
支払利息	1,078	1,505
持分法による投資損失	5,141	-
為替差損	1,731	673
支払手数料	-	4,516
控除対象外消費税等	5,714	5,470
支払奨励金	47,474	39,658
暗号資産評価損	3,057	-
その他	2,545	5,145
営業外費用合計	66,741	56,970
経常利益又は経常損失(△)	2,520,518	△720,695
特別利益		
投資有価証券売却益	22,013	-
段階取得に係る差益	492	-
特別利益合計	22,506	-
特別損失		
減損損失	-	10,093
事務所移転費用	-	4,226
投資有価証券評価損	50,768	-
特別損失合計	50,768	14,319
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	2,492,256	△735,014
法人税、住民税及び事業税	865,343	85,560
法人税等調整額	△865	△134,616
法人税等合計	864,477	△49,055
中間純利益又は中間純損失(△)	1,627,778	△685,958
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△850	△59,498
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	1,628,629	△626,459

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	1,627,778	△685,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△715,128	△6,213
繰延ヘッジ損益	△1,570,333	-
その他の包括利益合計	△2,285,461	△6,213
中間包括利益	△657,682	△692,172
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△658,532	△630,964
非支配株主に係る中間包括利益	850	△61,208

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	2,492,256	△735,014
減価償却費	74,435	99,282
減損損失	-	10,093
のれん償却額	14,183	58,567
株式報酬費用	27,968	29,453
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△115	△688
受取利息及び受取配当金	△9,345	△18,679
支払利息	1,078	1,505
持分法による投資損益(△は益)	5,141	-
投資有価証券評価損	50,768	-
事務所移転費用	-	4,226
売上債権の増減額(△は増加)	97,998	42,362
仕入債務の増減額(△は減少)	49,109	△135,840
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△830,104	△244,633
その他	△194,657	△511,078
小計	1,778,717	△1,400,444
利息及び配当金の受取額	9,345	18,679
利息の支払額	△1,216	△1,510
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△585,922	△451,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,200,925	△1,834,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△255	△20,357
無形固定資産の取得による支出	△88,181	△69,234
投資有価証券の売却による収入	142,500	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	22,993	-
その他	△1,609	△2,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	75,447	△92,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,430	△30,744
自己株式の取得による支出	△4	△1,129,050
配当金の支払額	△939,073	△942,129
非支配株主からの払込みによる収入	349,411	1,593
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	59,949	-
その他	△3	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△533,149	△2,100,329
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	743,223	△4,027,147
現金及び現金同等物の期首残高	12,985,094	12,611,361
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,728,318	8,584,214

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年5月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,930千株を取得しました。また、2025年6月17日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式92千株を処分しました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が1,067,879千円増加し、当中間連結会計期間末において、自己株式が1,965,992千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	586,120	329,976	2,022,329	2,938,426	—	2,938,426
その他の収益	3,387,592	—	—	—	3,387,592	—	3,387,592
外部顧客への 売上高	3,387,592	586,120	329,976	2,022,329	6,326,019	—	6,326,019
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	965	1,001	—	1,966	△1,966	—
計	3,387,592	587,086	330,977	2,022,329	6,327,986	△1,966	6,326,019
セグメント利益又は 損失(△)	3,162,743	△216,442	△90,855	177,609	3,033,054	△460,627	2,572,426

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△460,627千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	1,760,184	371,705	1,889,777	4,021,667	—	4,021,667
その他の収益	291,925	—	—	—	291,925	—	291,925
外部顧客への 売上高	291,925	1,760,184	371,705	1,889,777	4,313,592	—	4,313,592
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	491	5,002	—	5,494	△5,494	—
計	291,925	1,760,675	376,708	1,889,777	4,319,086	△5,494	4,313,592
セグメント利益又は 損失(△)	△33,825	△188,766	△37,518	51,507	△208,604	△481,941	△690,545

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△481,941千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、教育事業における既存領域の強化を図るため、キラメックス㈱及び㈱ブリュアスを経営統合する取締役会決議を行ったことに伴い、㈱ブリュアスをアドテク・コンテンツ事業から教育事業に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、「教育事業」におけるのれんの一部を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において10,093千円であります。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引

連結子会社の吸収合併

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業(存続会社)

名称: キラメックス(株)

事業内容: オンライン教育事業

被結合企業(消滅会社)

名称: (株)ブリューアス

事業内容: スマートフォン向けアプリ開発事業

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

キラメックス(株)を存続会社、(株)ブリューアスを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

(株)ブリューアス

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である教育事業における既存領域の強化を目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。